

インテリジェント・デザイン

シリーズ～詩編～

2015/3/1

詩編19篇2～5節

天は神の栄光を物語り
大空は御手の業を示す。

昼は昼に語り伝え

夜は夜に知識を送る。

話すことも、語ることもなく

声は聞こえなくても

その響きは全地に

その言葉は世界の果てに向かう。

そこに、神は太陽の幕屋を設けられた。

“インテリジェント・デザイン”

- 1996年にアメリカ・ロサンゼルス郊外のバイオラ大学において行われた国際学会
 - 創造論の科学性について200名以上の学者が参加した(生物学,化学,物理学,古生物学,天文学,数学,言語学,哲学,神学…)
- この世界の背後には「**インテリジェント・デザイン(知的な設計・意図)**」があることを科学的に認めるべきだと主張した
 - 現在の科学では,万物は,偶然発生した物質(唯物論)が自ら宇宙を造り(ビッグバン),そこに偶然発生した地球に,偶然生命が生まれ,適者生存の原理によって進化し(進化論),現在の姿に至っているとする

偶然かデザインか

- 速く安全に移動したい
- かっこいい姿にしたい
- 気持ちよく走りたい
- 少しでも燃費を良くしたい
- 他にない車にしたい



- 突然生まれた宇宙
- 偶然整った,生物が発生する環境
- 偶然の積み重ねで複雑に進化した生物

① 絶妙のバランス

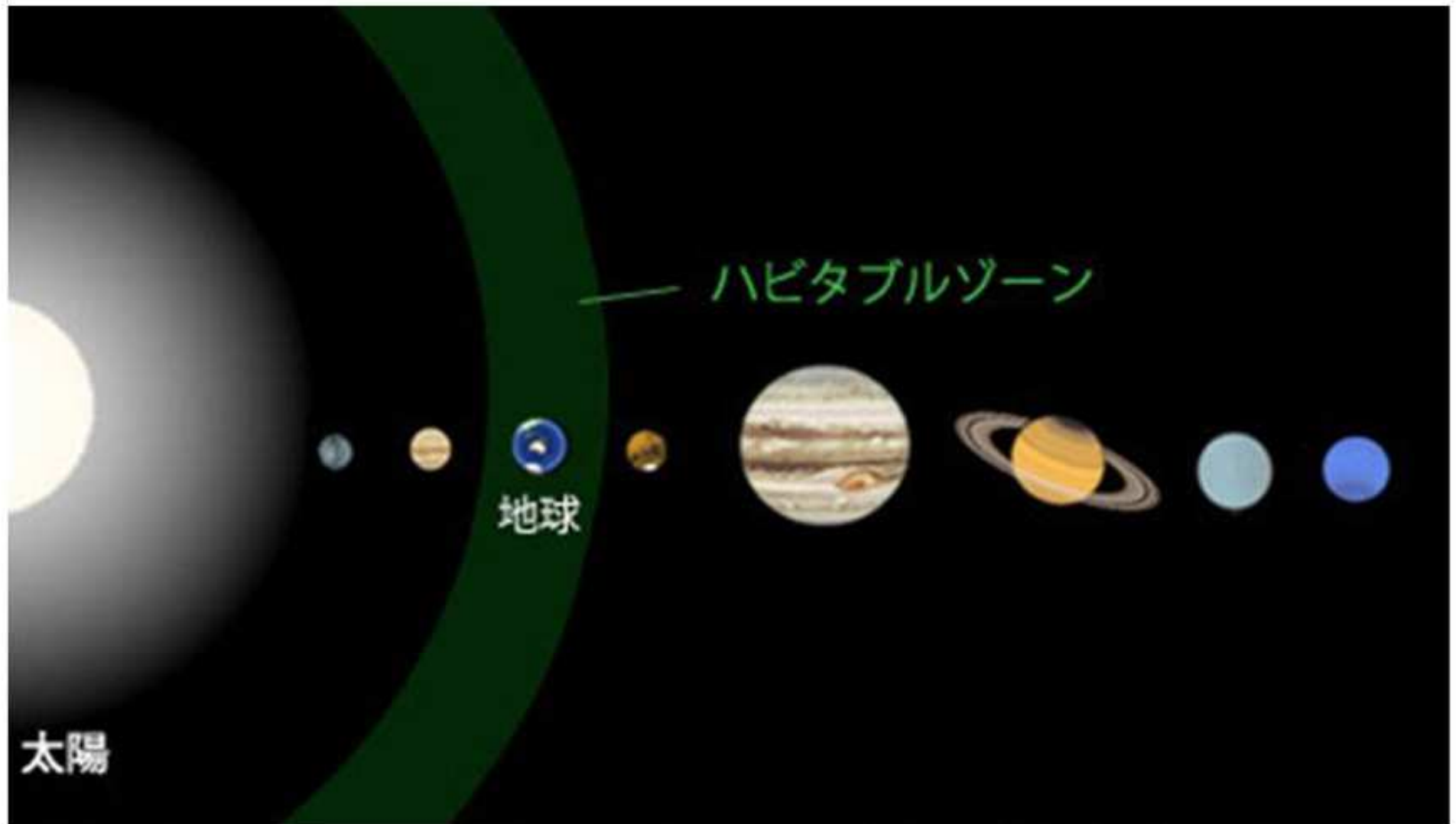
• おそろべき精度の微調整

- 人間のような生物が存在するために必要な物理法則や条件は数限りなくあり、それらがわずかでもずれると存在は不可能になる
- 核力・重力・電磁力・陽子電子の質量・高速・・・

• 地球の特殊性

- 液体の水・酸素を豊富に含む大気・大きな月（地軸の傾き→四季）・太陽のような星・太陽からの丁度良い距離・・・
- 同時に起こる確立は1000兆分の1以上！
- 銀河系には1000億の星があるが・・・

ハビタブル・ゾーン



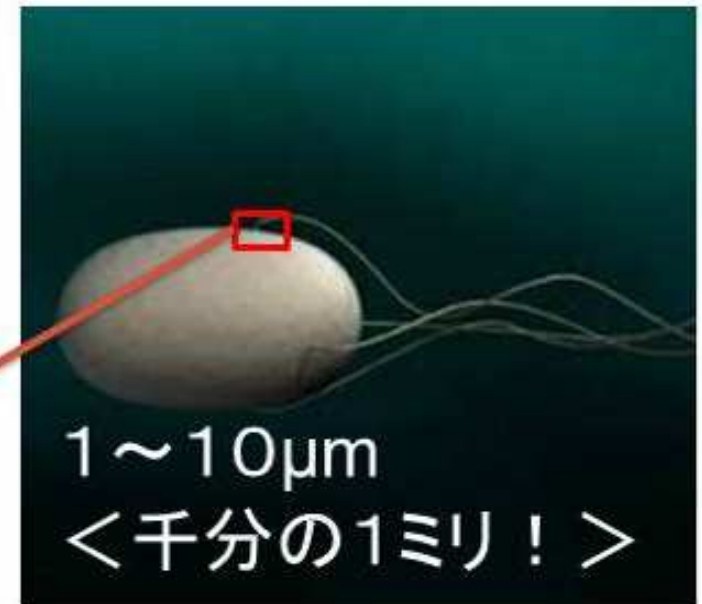
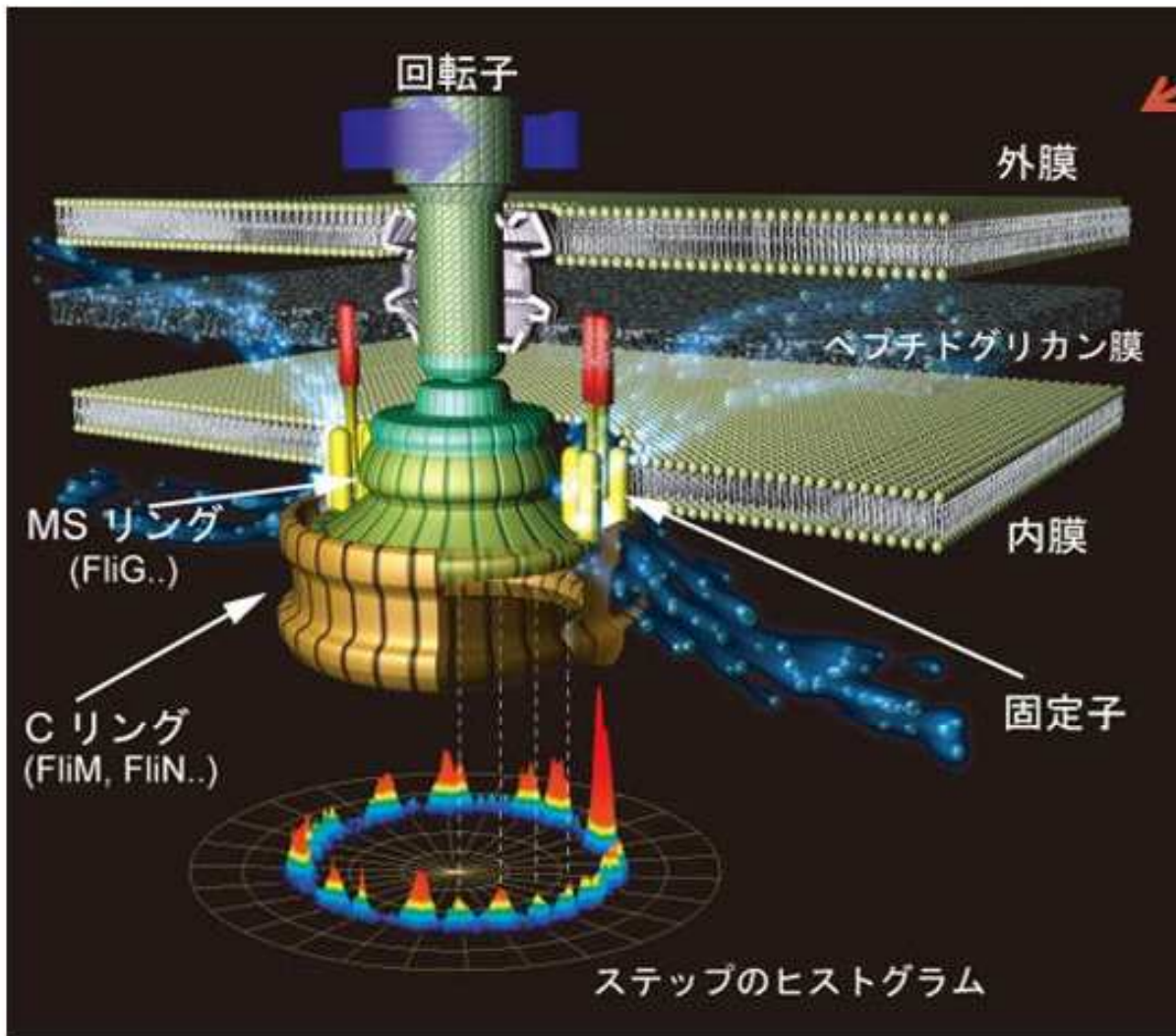
〈地球と太陽の距離〉地球は水や大気が安定的に存在できるちょうどよい位置にある

②完成されたしくみ・システム

- 生物の持っている複雑な仕組みは、どれもより簡単に(単純に)することはできない
 - 進化論では、より簡単な仕組みから複雑な仕組みができたと言うけれど…
- 自然界全体が完成したシステムのもとで成り立っている
 - 水の循環・空気のバランス
 - 食物連鎖
- 一度どこかが破壊されると元には戻らない
 - 完成した状態から始まったと考える方が…

細菌のべん毛

もっとも原始的な生物だと言われている



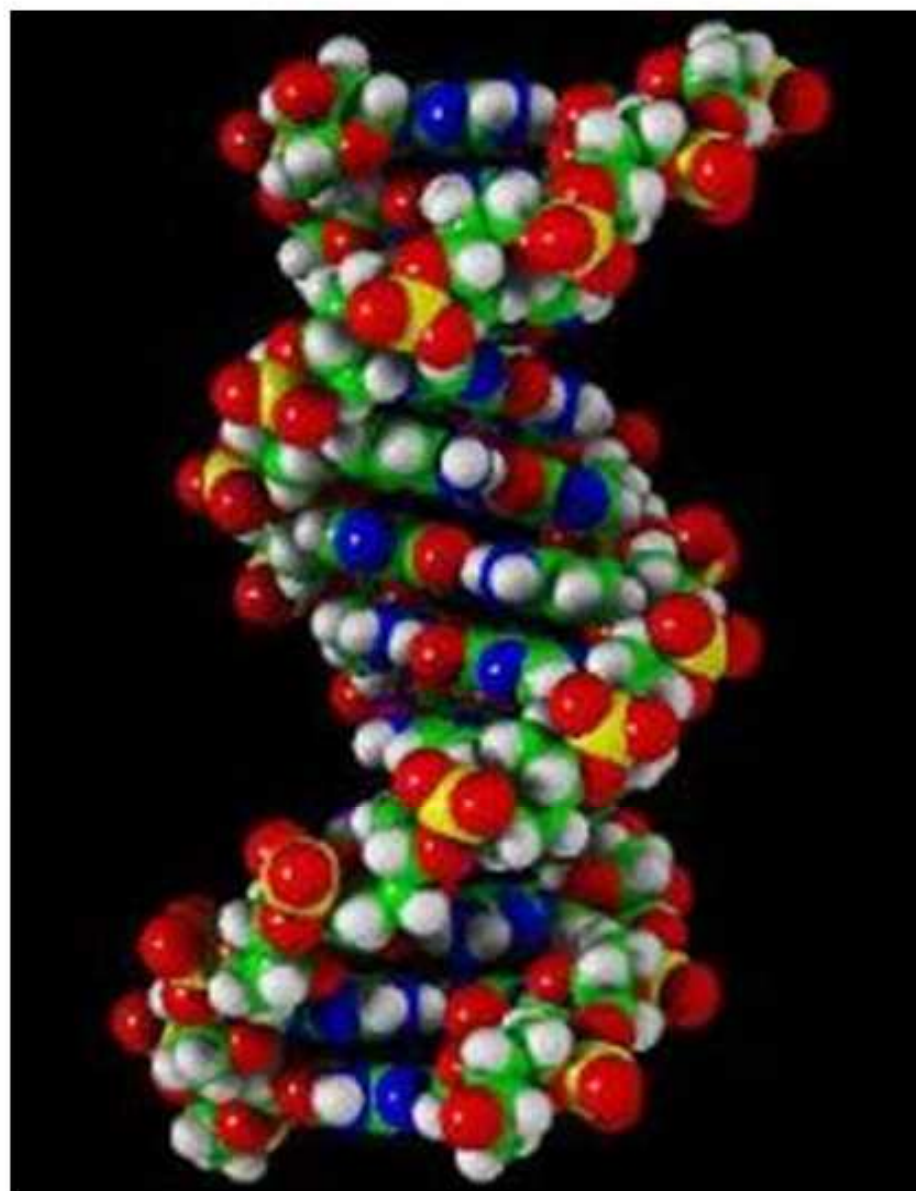
様々なタンパク質がそれぞれの役割を果たし、べん毛を**1秒間に千回以上**回している!

50nm <10万分の5ミリ!>

③意図されたしくみ

- すべての生物は遺伝子(いでんし)が支配している
 - 設計図・マニュアル(動かし方)・壊し方などのあらゆる情報が書き込まれ,書き写されてゆく
 - サイズは0.003ng(1gの1兆分の3g・長さ何と2m)
 - 人間の体は約70兆個の細胞からできている
 - たった1個の遺伝子から同じ生物が再生される
- どのようにして生物は遺伝子技術を手に入れたのか?
 - 現在の進化論で最も説明が難しいところ!
 - バクテリアも人間も同じしくみで存在している
- 生物の誕生と共に遺伝子のしくみがなければ,生物は子孫を残せない!

DNA(遺伝子の本体)



- 人間のDNAは,4つの塩基(記号)が60億個並んでいる
 - 60億ビット=約750メガ
 - 約CD1枚分しかない
- 人間とチンパンジーの遺伝子の違いはわずか2%
 - 「遺伝子のスイッチがオン・オフされるタイミングの差」<福岡伸一>

これらの科学的発見は
この世界が偶然できたのか
知的なデザインによってできたのか
どちらを証明しているだろうか？

「世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができます。」

ローマ1:20